

THE COMMEMORATION ALBUM OF THE THIRD
TAKARAZUKA REVUE PERFORMANCE IN HAWAII

1957

ハワイ公演記念アルバム



TAKARAZUKA REVUE CO.



宝塚歌劇団・発行



準ミスクイーン三浦嬢と浜木綿子 (左)高岡奈千子

(左から) 松島三那子・若山かず美・浜木綿子・峯京子 高殿ゆかり・水代玉藻
 (l. to R.): Minako Matsushima, Kazumi Wakayama, Yuko Hama, Kyoko Mine,
 Yukari Takodono, Tamamo Mizushiro



はなやかに市中行進!



Going to march in parade through the streets in Honolulu.



梅田団長と天津乙女 Kenichi Umeda, leader of the Takarazuka group, and
 Olome Amatsu



(前列左より) 高岡奈千子、鳳八千代、大路三千緒、天津乙女、黒木ひかる、睦千世、梅田健一(中列) 峯京子、松島三那子、神代錦、
 浜木綿子、夏ノ宮千世子、天城月江、淀かほる、明石照子、水代玉藻、(後列) 酒井協、康本晋史、小池幾三郎、奥田こすゑ、
 山村よね、内重のほる、若山かず美、藤里美保、高殿ゆかり、秩父美保子。

First row (l. r.): Nachiko Takaoka, Yachiyo Otori, Michio Oji, Otome Amatsu, Hikaru Kuroki, Chiyo Mutsumi, Kenichi Umeda,
 Second row: Kyoko Mine, Minako Matsushima, Nishiki Kamiyo, Yuko Hama, Chiyoko Natsunomiya, Tsukie Amagi, Kaoru Yodo,
 Teruko Akashi, Tamamo Mizushiro,
 Third row: Kyo Sakai, Shinji Yasumoto, Ikusaburo Koike, Kosue Okuda, Yone Yamamura, Noboru Uchinoe, Kazumi Wakayama,
 Miho Fujisato, Yukari Takadono, Mihoko Chichibu.



県庁訪問

CALLING ON GOVERNOR
OF HAWAII

桜まつりの準ミスウイーンと……



日本人商工会議所主催の歓迎パーティ Welcome Meeting held by Japanese Jaycees

桜まつりクイーン戴冠式の会場で宝塚一行の紹介
 Takarazuka Girls introduced to the Public at the
 Coronation Ceremony of the Cherry Queen



県知事キング氏を訪問 Calling on Governor Samuethilder King of Hawaii



市庁にブレズデル市長を訪問 With Mayor Neal S. Blaisdell of Honolulu at the Municipal Office.

アメリカより帰国途中の長谷川一夫氏一行、
 フラの歓迎をうけてホノルル空港到着(左よ
 り天津乙女、永田大映社長夫人、長谷川一夫
 氏、西川鯉司郎氏、長谷川夫人、神代錦)

Mr. Kazuo Hasegawa, one of the biggest stars in Japan, and his group enjoyed Hula with Takarazuka girls at Honolulu Air Port on their way back to Japan from America.



舞台スナップ集

SNAPSHOTS FROM PERFORMANCES



(左から) 明石照子・鳳八千代
淀かほる (L. to R.): Teruko Akashi, Yachiyo Otori,
Kaoru Yodo



「花と人形」のフィナーレ The Finale in "Hana-to Ningyo"



「鏡獅子」の天津乙女



Otome Amatsu in "Kagami-Jishi"

(左から) 明石照子・神代錦・天城月江



鳳八千代 Yachiyo Otori



宝塚おとめたちを激励の長谷川一夫氏を囲んで
Mr. Kazuo Hasegawa among the Takarazuka girls



粋なお二人の仇姿 (明石と淀)
Teruko Akashi (left) and Kaoru Yodo



楽屋は在留邦人の方たちに手伝って頂きました
Too busy! Japanese residents play dresser's part



「鏡獅子」胡蝶の淀かほる
Kaoru Yodo



「娘道成寺」で唄う浜木綿子と睦千世
Yuko Hama (left) and Chiyo Mutsumi



江戸前の明石照子 (左) と淀かほる
Teruko Akashi and Kaoru Yodo

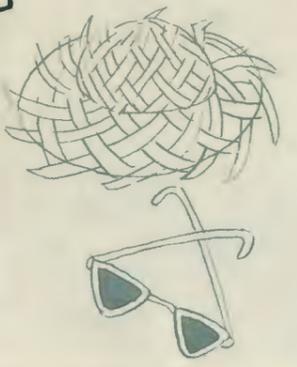


「熊本臼太鼓」の浜・天城・大路 (左から) Yuko Hama, Tsukie Amagi and
Michio Oji in "Kumamoto-Usudaiko"



「美女と山賊」の大路・黒木 Michio Oji and Hikaru Kuroki
as "Bijo to Sanzoku"

楽しい
島めぐり



Going on a Round Tour of Oahu.



淀かほる Kaoru Yodo



カフク本願寺で婦人会のお婆さんたちの接待をうける
陸千世 (左) と高殿ゆかり



可愛い子供の歓迎ワラ

Welcome Meeting held by Japanese Jaycees



(左より) 大路三千緒・神代館・黒木ひかる
L. to R.): Michio Oji, Nishiki Kamiyo, Hikaru Kuroki



ハレイワ公園で休憩, 在留邦人の歓迎をうける
During a Reception at Haleiwa



ハワイの娘さんたちと一緒に……(後列左より 峯・夏ノ宮・浜)
At Haleiwa Beach with Hawaiian girls. L. to R.:
Kyoko Mine, Chiyoko Natsunomiya, Yuko Hamai



ワヒアワでも盛大な歓迎をうける
A Warm Welcome at Wahiawa



ワヒアワで名物のパイナップルの
御馳走に舌鼓をうつ

Who said, "I wish I could have the one every morning
through the life." At Wahiawa pineapple plant.



ハレイワの戦歿勇士記念碑に
花輪を捧げる一行
May the Heroes of the World War II rest
in peace! At Haleiwa Park.



峯京子 Kyoko Mine



鳳八千代 Yachiyo Otori



ハワイ名物ココナッツ帽子造りを見る
松島・夏ノ宮・浜・天城 (左から)

(L. to R.): Minako Matsushima, Chiyoko
Natsunomiya, Yuko Hama, Tsukie Amagi



ソウドウ寺前で一左から高岡・内重・松島・秩父
At Sodoji Temple, in their leisure hours.



フラのお稽古 Learning Hula



お稽古の合間に一淀かほる
Kaoru Yodo



うまく撮れるかしら? (ハレイワ海岸で明石照子)
Teruko Akashi

左より明石照子・金山総領事夫人・天津
乙女・黒木ひかる (日本総領事主催のパ
ーティ)

At the Welcome Party given by Japanese
Consul-General Masahide Kanayama.
L. to R: Teruko Akashi, Mrs. Kanayama,
Otome Amatsu, Hikaru Kuroki



ワイキキ海岸
 ハワイ気分も満喫!

Good refreshment! At Waikiki Beach.



左より高殿・黒木・天城・水代・鳳 Yukari Takadono, Hikaru Kuroki, Tsukie Amagi, Tamamo Mizushiro, Yachiyo Otori



左より (前列) 大路・明石・天津・淀・鳳
 (後列) 水代・康本・睦・高殿・黒木

First row (l. to R.): Michio Oji, Teruko Akashi, Otome Amatsu, Kaoru Yodo, Yachiyo Otori, Second row: Tamamo Mizushiro, Shinji Yasumoto, Chiyo Mutsumi, Yukari Takadono, Hikaru Kuroki



神代館と淀かほる Nishiki Kamiyo and Kaoru Kuroki



内重のぼる・高岡奈千子・鳳八千代 Noboru Uchinoe Nachiko Takaoka and Yachiyo Otori.



淀かほる Kaoru Yodo



黒木ひかると天城月江
Hikaru Kuroki and Tsukie Amagi



きれいな水と砂ノ 秩父美保子と高岡奈千子
Mihoko Chichibu and Nachiko Takaoka



天城月江 Tsukie Amagi



マウイ島公演へ出発
Before flying to Maui
from Honolulu.



鳳八千代 Yachiyo Otori



藤里美保と若山かず美
Miho Fujisato and Kazumi Wakayama



アロハ ハワイ!

ALOHA HAWAII

アロハ・オエの合唱 (ク
リーブランド号船内にて)

Aloha Oe Chorus: On board the
President Cleveland, A.P.L.



船内で船客のために特別ショウを開く
Extra Show for the passengers in the ship.

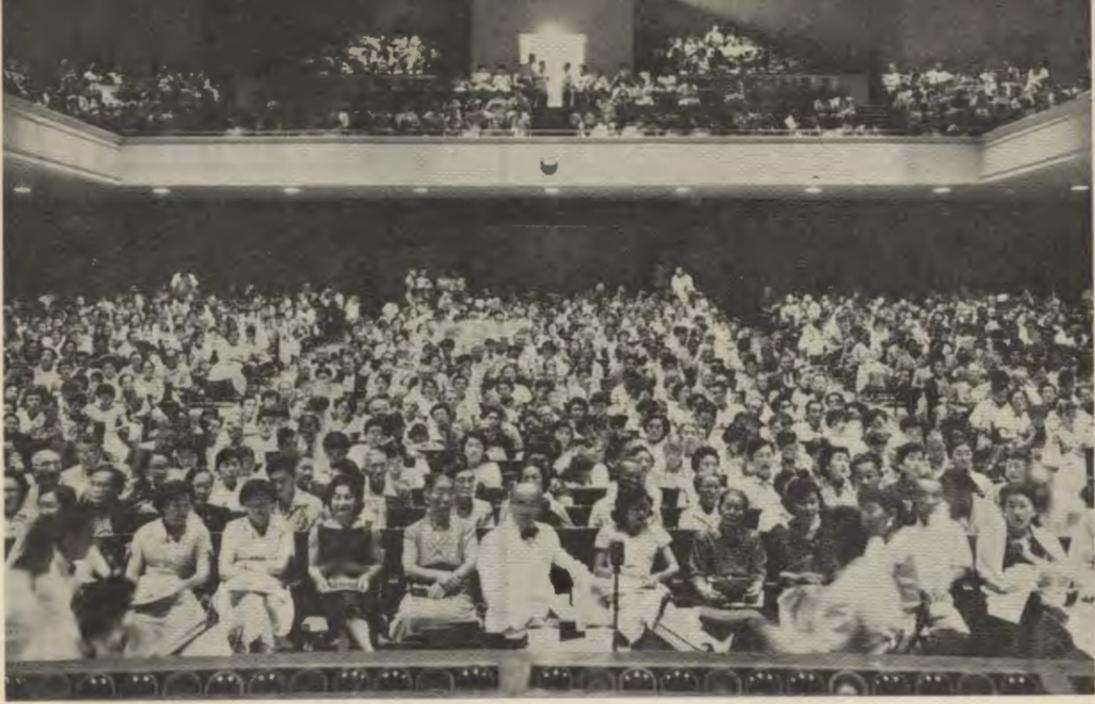


船長F・Fアングリック氏と一緒に



船上のひととき (左から高岡・秩父・
神代・藤里・内重)

(L. to R.): Nachiko Takaoka,
Mihoko Chichibu, Nishiki Kamiyo,
Miho Fujisato, Noboru Uchinoe



超満員のマッキンレー・ハイスクール講堂

★ 第三回ハワイ公演を終えて

梅田 健一

ハワイ公演も三回目だが、ワイキキの浜辺は今年も賑やかで、美しい風景と人情も変りない。生徒諸君も連日のさくら祭の諸行事への参加、歓迎パーティへの出席、舞台稽古、連日の二回公演、島内見学等、ギッシリつまったスケジュールで本当に御苦労であった。しかしオリンピックではないが、参加することに意義があると思えば、疲れるなどは云っておれなかった。一行の顔ぶれも最高のもので、「美人ぞろい」と新聞にも書き立てられて人気はすばらしく、それ以上に、公演が好評だったことは、天津さんはじめ一行の美しい団結の成果で何ともしようらしいことである。

三度目の公演だけに、宝塚ファンという客筋も出来て来たようだし、特に白人客が五割近くを占め、アメリカ本土公演の可能性という点から考えても喜ばしい傾向である。

酒井 協

ホノルル公演のオーケストラは、ハワイ在住の楽士さんたち、と云ってもアマチュアで毎日仕事をもって居られる人達による編成であるが、なかなか立派に出来たのは、皆さんが一生懸命にやって下さったからで、外人客からも音楽が大変いと賞められ、嬉しい限りでした。

天津さんの踊りの音楽は、宝塚で研究を重ね練習を重ねて、最後に楽団員四十名の演奏で徹夜で作りあげて持っていたテープ・レコードでしたが、マッキンレー講堂の音の響きが良いのと、このラジオ技師の御努力で成功をおさめることが出来て喜んでおります。

天津 乙女

ハワイの桜まつりも今年で五回目を迎え、その多様な行事によって日本文化を二世、三世、特に白人方面

★ 公演評

「娘道成寺」は天津乙女が日本舞踊の美しさを遺憾なく現わした。次ぎに日本の郷土色豊かな民俗舞踊をレビュー化した「花踊り」十六景は華麗な「藤娘」で舞台を開け、観衆は郷愁をそそられた。なかでも、「雪と鶯」で白地に銀繻という衣裳のサギの清らかなさは非常に印象的であった。「美女と山賊」は諷刺的な寸劇で、黒木ひかると大路三千緒のとり交わす英語交りのセリフは外人客からも喜ばれ喝采を博した。明石照子、淀かほるコンビの「深川」「はっ」として節は軽快。個人では神代錦が群を抜き、歌手では浜木綿子が光っていた。

宝塚レビューの二の替りは、天津の「鏡獅子」と歌舞伎レビュー「花と人形」。観客は外人客も目立ち、二階正面までギッシリの盛況。

天津乙女の「鏡獅子」は神代錦の後見で踊る小姓弥生の艶やかな上品さに先ず心うたれる。やがて獅子の精にひかれてゆく凄艶な表情と、獅子の精がのり移ったときの巧緻な演技。後シテは限どりの見事に壮重な出、胡蝶を追う姿も品位を備え、髪洗いもあざやかに四十分間にわたって観客を完全に陶醉させたのは、さすがに天津ならではの才能だ。胡蝶もバレエ式の群舞で宝塚調をみながらしている。

「花と人形」全十二景は、日本の四季の景物を取り入れて華やかな絵巻物をくりひろげ見ごたえあるものにまとめている。構成、演出、舞台装置とその転換にバラエティがありテンポもあり、華やかさもあって出

忘れてしまいました。でも私らしいと云われるかも知れませんが覚えてるのは次の三つです。

「モモナ(肥っているという意味)癪にさわったときなんか「あんた、モモナね」というと相手は知らないんだから、ウンとかエエとか云うのが楽しくて……「ヒラヒラ」(恥かしいという意味)これは現地で使ってハワイの人たちに大分喜んで頂きました。困ったときなんか、しなをつくって「私、ヒラヒラだわ……」とネ。

「プブレ」「ローロ」(パー即ち馬鹿という意味)これは覚えて帰らなかった方がよかったですと叱られています。とかく、云うよりは云われる方が多いので……(藤里美保)

★ ハワイ 随想

とても楽しく

神代 錦

ハワイに着いてすぐ膝が腫れて、思ったことの半分も果せなかったのは残念でした。公演にしても代役は立てられませんでした。まあ最後まで休まずにがんばり通せたことを何よりだと思っています。

その足の痛みも、帰る少し前頃には大分ましになって、帰国二日前のサヨナラ・パーティには何十年ぶりかで踊りまわりました。ロイヤル・ハワイアン・ホテルで天津、天城、黒木、明石さんと私が招かれたのですが、あんなに踊ったのは久しぶりで、とても楽しく、美しいホテルから、ワイキキの景色を眺めながら踊っていると、ああハワイへ来ているのだな——と本当の外地気分を満喫できたのです。

買物には時間の余裕がなくて困りましたが、およろしいのはお値段の方もよろしくて、いつも頭と算盤で、ちよっとばかりシンドイでしたね。

着物の美しさ

天城 月江

私たちがハワイにいた間は、全くの歓迎攻めでした。

その上公演の評判がよく、みんな楽しい思い出を残していることでしょう。

強烈なタヒチの踊り

黒木 ひかる

ハワイ土産も三回目ともなれば何か目先の変わったものを……と天城さんと一生懸命習って帰ったのがタヒチの踊り。

ハワイでいろいろ踊りを見に行くと、五ツ六ツあるナンパーの中に必ずといってよいくらいタヒチ、サモアの踊りが一曲ぐらいずつ入っている。

タヒチもサモアもハワイとは国が違うので、タヒチの踊りはタヒチからハワイと呼ばれて来るわけ。ハワイのフラばかりでは色が単調すぎるので、タヒチのように血の熱い強烈なものを入れるのだと思う。

ハワイのフラ・ダンスは手振りや歌の意味を語り、腰はただそれについてゆくとというのが本場で、"Keep your eyes on the hands" という歌があるくらい手の



楽屋風景



ワイキキの海岸で(水代・明石・内重)

色とりどりの着物で、オープンカーにのり、宝塚音頭で市中行進したときも、町中の人がみんな外に出て、大変な歓迎です。ドライブをしていた外人の方なんかわざわざ車をとめて「ウェルカム」といってくれるし、こんなに皆様が宝塚を愛して下さるのかと大いに感激しました。それと日本人の多いこと、ハワイの八割が日本人のような気がいたしました。そして、みんな立派に生活していられることを嬉しく、誇りに思いました。

最初の夜、ロイヤル・ハワイアン・ホテルで、チェリー・プロッサム・クイン(桜の女王)の戴冠式に出席したら、外人のお客様方が、私たちの着物が美しいと大変おほめになるのです。ほんとうにああいう場所へ出て、つくづくどんな豪華なイヴニングドレスよりも日本の着物の美しさを感じ、日本人でよかったと思えました。

花火大会が開かれても、仕掛花火の「鏡獅子」があったりして、全島が宝塚調に彩られたような歓迎ぶり。

うつくしさが第一目的である。

そこにゆくと、タヒチの踊り(タヒシャン・ダンスという)は手は上にあげても横に置いてかまわないのだが、ドラムに合せて腰を如何に細く小さく振るかがその踊りの上手下手の決め手の大部分である。

サモアの踊りは男性舞踊手だけ見たのだが、火のついた松明を投げたり廻したり、又は剣を持って飛んだりはねたり、掛声とともにこれもドラムに合せて大変烈しいものを踊る。私たちに素晴らしいものと思えたし、どうにかこなしだしたと思っただが、今更ながらそのむつかしさにへきへきしています。

土地を買おうと思ったが……

大路三千緒

空も海も木も花も、そして空気も、百パーセント明るいハワイ。すっかり気に入っちゃって土地を買って住もうかと思ひ、この辺はいくら? この辺は? 聞いて歩いて歩いたんですよ。ワイキキから車で十分くらい行った住宅地、そこは私のハンドバッグ位の大きさで二ドル?? 三ドルのところも五ドルのところもあるんですよ——大変々々、やっぱり買うのを止めちゃいました。

清潔な街

陸 千世

ホノルルの町の道路のきれいなのは驚きました。そして何かしら青々としていて清潔で、気分がすっきり致します。みんな競争のようにパチパチと写真を撮りながら来たのですが、さてその腕前はどうか? マッキンレイ講堂で、オーケストラ合せを十一時までやったことがあります、その日は昼間から曹洞宗のお寺でお稽古をやり、ほとんど立ちつづけでしたので足が疲れ、椅子やベッドの上でちよんちよん座ってみたりしました。こんなとき、日本のタタミがなつかしくてたまりませんでした。美しい風物と人情——楽しく公演出来ましたことを感謝しております。

プログラム II

(四月二十八日まで)

「鏡獅子」

二場

作・水田 茂
振付・天津乙女
作曲・酒井 協

小姓弥生 天津 乙女
獅子の精 天津 乙女
後見 神代 錦
中 藤 天城 月江
老女 大城 三千緒
蝶 全 員

「花と人形」

十二場

演出・高木史郎
音楽・宝塚音楽部

第一景「花の仲之町」

(二百年前の江戸仲之町の華やかな風俗)

水野 十郎 左衛門 神代 錦
奴 大城 三千緒、若山かず美、内重のぼる

新兵衛 天城 月江
瓦版売り 明石 照子
娘 高殿ゆかり

傾城 黒木ひかる、鳳八千代、浜木綿子
芸者 高岡奈千子

水野方 水代玉藻、松島三那子、秩父美保子、藤里美保
かむろ 夏ノ宮千世子、峯京子

第二景「禿と権八小紫」
(白井権八と恋人小紫と禿の踊り)

権八 淀 かほる
小紫 夏ノ宮千世子

第三景「橋の雨」
(雨の橋、下町娘の踊、風の橋、夜の橋)

傘の女 黒木ひかる
下町娘 陸千世、高岡奈千子、浜木綿子

武士 高殿ゆかり
権八 淀 かほる

第四景「夕涼み」
(河端の夕涼み、仲居さんと若者とニヤケ男のコミック)

男 大城 三千緒

若者 明石 照子
仲居 水代 玉藻
鳳八千代、峯京子、松島三那子、夏ノ宮千世子、秩父美保子、若山かず美、藤里美保

第五景「月見団子」
(月と兎の昔話)

お爺さん 天城 月江
お婆さん 陸 千世

第六景「玉兎」
(月の中の兎と子供、兎が昔話を踊る)

玉兎 天津 乙女
子供 浜木綿子、内重のぼる

第七景「三つの民謡」
(神編ハトマ、小原節、佐渡おけき)

踊る女 明石 照子
小原節男 高殿ゆかり、秩父美保子

沖繩の女 峯京子、夏ノ宮千世子

第八景「日本の顔」
(人形の顔、お面の顔、仏像の顔、ずっとずっと昔からの日本人の顔の踊り)

若者 黒木ひかる
文 大城 三千緒、淀かほる

おかめ 陸 千世、水代玉藻、高岡奈千子

四天王 松島三那子、若山かず美、藤里美保、内重のぼる

第九景「玩具箱」
(日本の昔からある玩具の踊り)

越後獅子 神代 錦、天城月江、明石照子
花嫁人形 鳳 八千代

てつくり 高殿ゆかり
歌手 浜 木綿子

トウ人形 峯京子、夏ノ宮千世子、秩父美保子

第十景「かっぱれ」
(三人坊主のかっぱれ踊りくらべ)

かっぱれ 大城 三千緒、水代玉藻、秩父美保子

第十一景「雪月花」
(三つの皿にかかれた雪月花の風景とそれをバックに踊る法師、若者、女の踊り)

法師 神代 錦
若者 黒木ひかる

第十二景「まつり」
(江戸仲之町の華やかなお祭り)

とびの者 天津乙女、神代錦、天城月江、大城三千緒、明石照子、淀かほる、水代玉藻、高殿ゆかり、松島三那子、秩父美保子、若山かず美、藤里美保、内重のぼる

手古舞 黒木ひかる、陸千世、鳳八千代、高岡奈千子、峯京子、浜木綿子、夏ノ宮千世子

二度目の印象

明石 照子

ハワイでの印象を一口で申し上げますと

- 1 花が美しい
 - 2 果物がおいしい
 - 3 ねむい
 - 4 食事に追廻されている感じ……等々でした。
- 決して不平ではありません。悠ばつてハワイの成果をあげようと張り切つたためです。

ハワイ・ヴィッチ・ホテルで、ロータリークラブのランチに招待されたとき、ほとんど白人の方でしたが私達宝塚ガールの着物がキレイとお賞めいただき、そのとき歌を三つばかり紹介しましたら、とても喜んで下さいました。

こんどの公演も、好評をいただいで、私たちも張りきり甲斐があったと嬉しく思っております。ある米人は「アメリカ本土へ持って行って好評であろう」とはめて下さいました。

私は二回目でしたが、宝塚を心から歓迎して下さいさるハワイの皆様は深く感謝いたしております。

美しい環境

淀 かほる

ハワイの印象は、美しい空と海と花と道路、それに澄んだ空気。前に行つたローマやパリとはまたちがつた美しさを感じました。ただ何となくのんびりしていますので、私たちのような日本生れは、頭がぼけてしまいそうです。

けれども、皆さんがとても親切で、いろいろな気をつけて下さいましたことを有難く思っております。

ワイキキの浜辺に限らず、いたるところでいろんな服装をしたいろんな人種に出会います。人種の差別がないので、みなとてもたのしそに生活しているようです。生活苦による一家心中なんていうニュースは全然ない訳で本当に幸福な国です。

失敗談を一つ——日曜日の夜はホテルもどこも早く

特に熊本の白太鼓を背おうのは非常に肩がこりました。そこで、あんまを呼ぼうとしましたら、何と三十分で三ドル(約千円)！ハワイへ行つてあんまになりたいたいようなお値段なので、ついに諦めました。

その夜、行つたハワイアン・ビレッジ(カイザ・ホテル)は、ハワイで一番新しいホテルで、ワイキキの浜辺にあり、素敵なお庭でした。椰子の茂る庭、底にネオンがついているプール(上にプラスチックの床が出ていて、その上で踊れるようになっていて)、それに草むきのおネムーン(これが一番気に入りました)、全くハワイこそ、恋人と一しょにハネムーンに行くところですよ。

そこで見たショウも、日本では見られぬ迫力のあるもので、結局体力が違ふせいでも知れませんが、たいまつを持って男の人がタヒチの踊りをやりましたが、本当にすばらしいものでした。タヒチの女のフラは、宝塚へそのまま持って来ても受けるだろうと思えました。こういうショウを見ながら、パイナップルのお酒を飲むなどというのは、ハワイならではの味わぬ喜びでしょう。

おいしいハワイの空気

峯 京子

四月二十四日、お昼に婦人会主催の歓迎会があり、ホテルまで奥様が迎えに来て下さいました。着いたところは、いかにもハワイらしいお邸。そこでフラ・ダンスを見せていただきましたが、十歳くらいのお嬢さん(会員の娘さん)フラは愛嬌があつて皆が大喜び、天津乙女さんや梅田先生にキッスするときの可愛らしいこと！

この日は「鐘獅子」の初日で私は蝶で出ていたのですが、みんな緊張して大はりきりでした。外人の方が「とてもすばらしいショウですね。ハワイへ来て、このような演し物を見るのができたのはとてもうれしい。前の五日間のショウにもおとらない良い公演だ」とおっしゃつたのを聞いて、私も嬉しくなり、もつと

から閉じてしまつたのですが、うっかりそのことを忘れて外出してしまつたのです。おまけに部屋のカギを忘れていたので、帰つて朝まで寒いフロントで過すのかと気も転倒しそうです。結局ホテルの支配人を起してやつと入ることが出来ましたが、カギのない生活に馴れている日本人が演じた、とんだ一幕でした。ごていねいにそれからも、ときどきカギを忘れて外出してしまうのには、われながら恐れ入りました。

本場のフラはむつかしい

水代 玉藻

ハワイでは、みんな年を若く見られたが、秩父美保子などは十五六歳ですか——などと聞かれて怒つてた。何も怒ることはないのに……。

昨年、一昨年のハワイ公演組が、ハワイでは暑くても汗なんか出ないとか、雨は降らないし、ホコリが立たないから足袋も汚れないとか……色々教えてくれたけど、行つて見れば全部ウソ。汗も出ますし、雨も三日間続いて降るし、足袋も一日か二日はいたら汚れますぞエ。足袋の洗濯など馴れないとうまく出来ないものね。

本場のフラダンスを見せてもらい、その人たちが使つた腰ミノを頂戴して、私たちも教えてもらつて踊つたが、着物の上に腰ミノをつけておどる姿は、まるで踊る宗教のハワイ布教班として、新聞に写真をのせたい位、傑作だった。だけど商売柄、組長(天城)アンナさん(黒木)のおぼえの早かつたこと——さすがダンス畑のお人ですね。

新婚旅行にはぜひ！

鳳 八千代

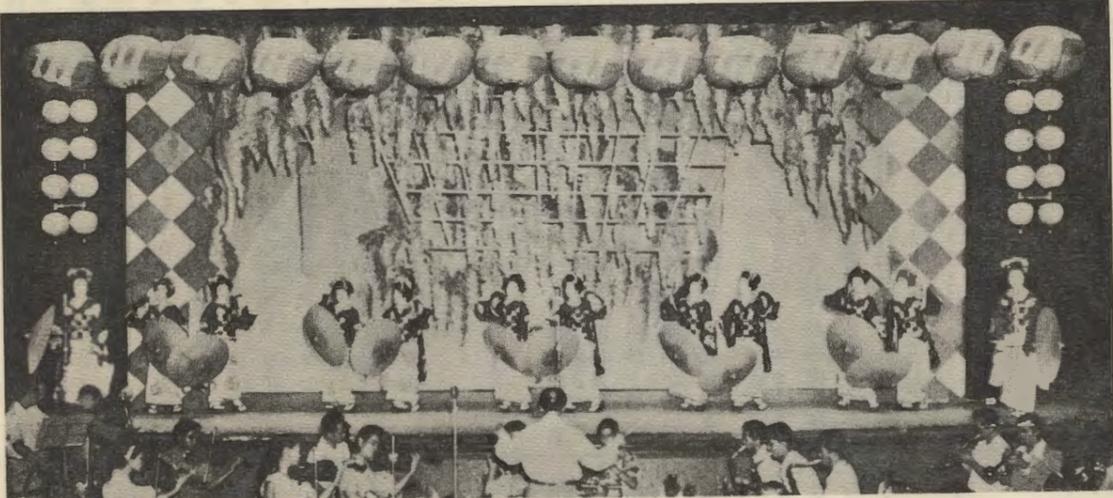
水代さんと私の二人が、ラジオのインタビュールに出るよう頼まれて、桜まつりの準ミスの方と一緒に放送局へ参りました。準ミスの方は全然日本語が分りませんし、私たちはもちろん英語がサッパリです。新聞社の方が通訳して下さいました。そのとき聴取者から電話で質問されるのに答えることになりました。

がんばらなくてはと思ひました。

美しいハワイの空気を吸って、モナになって(肥つて)帰れたのが何よりものお土産だと思ひます。

初めて見る外国

松島 三那子



「宝塚花踊り」の幕あき

したが、「今度来ている宝塚の方で何人結婚していますか」「結婚しているのに長い間離れて不自由ではないですか」という質問が出ましたが、水代さんが「そもそも宝塚というものは……」とうまく説明してくれました。しかし後で大笑いいたしました。

毎年このように、公演は忙しくて、楽屋入りのときはまるで戦争に行くような心持でしたが、お手伝いの方が手際よくやつて下さつて大へん助かりました。

ちよつと車を走らせると、あちこちにすてきな所があつて、恋人と一しょなら申し分なかつたと思ひます。私たちは、新婚旅行の下検分だと負け惜しみをいながら、色々なところを楽しく見せていただきました。

心暖まる歓迎をうけて

高殿 ゆかり

憧れのハワイでの毎日は、ほんとうに夢のように思ひましたが、私たちを御指導下さいましたジュニア・チェンバー(青年商工会議所)の方たちをはじめ、皆様の御親切は忘れられません。梅田先生や鳳八千代さんの誕生日などには、本人には内緒で、大きなパースデイ・ケーキや、ウクレレなどのプレゼントを用意して、みんな祝つて下さるなど、ほんとうに心暖まる歓迎をしていただきました。

公演も好評でしたが、何しろ人数が少いので、開演したらお食事をする暇もないという有様で、ハダシで走り廻る顔は真剣そのものでした。

日本にいるよりも、ハワイへ行つてはじめて宝塚の価値が分つたような気がいたしました。これだけ有名な宝塚になつた小林一三先生に、お便りをさし上げることができないのが何より悲しいことでした。

珍らしいことばかり

高岡 奈千子

ホノルルではじめてやつた「宝塚花踊り」は、頭に獅子をかぶつたり、長い竹のランドセルを背おつたり、

フラというのは、見ていると簡単なようですが、おぼえるのはなかなかむずかしいものでした。踊りをする時も、腰から上を見るものだから、私たちの考えているのとは大分ちがうようです。

公演は評判がよく、誰もがベリー・ナイスとほめて下さいました。特に「花と人形」の幕開きが美しいらしくオーというタメ息？ が聞えたほどでした。またハワイではコミックなものが受けたようです。

ナイト・クラブで白人のショウを見学したことがありました。歌は騒々しいものばかりで、あまり感心しませんでした。声量のすばらしいことは体格からくるのでしようか。タップもすばらしく、背の高い女の人がアンコールにこたえて四曲ばかり踊りました。音のきれた、そしてくずれない美しさに感心し、これでは私たちの、タップのタの字にもなつていないとガツカリいたしました。

ハワイは夜がとってもロマンティックで素敵でした。通称「愛の小径」といわれるところを車で通過する時は、さすがにそのあたりアベックが一ぱいなので私達は、とめて、とめて、と霧閉気に浸つて？ いました。

マウイ島で飲んだオレンジ・ジュースの美味しかったことも忘れられません。

帰りの船が港をはなれる時は、皆もう二度とこれがないと思うと涙が出て悲しくなり、とうとう泣いてしまいました。

でもあの船がはなれる時の雰囲気は堪らなくステキで、アロハ、とフラを踊つてくれる、テープは乱れ飛ぶで、こうした風景を思い出すとまた行つてみたいなアと思ひます。

嬉しい公演の成功

夏ノ宮 千世子

マッキンレー講堂での公演は、早替りの連続で少々グロッキーでしたが、千秋楽の日、ハワイ音頭で幕がおりた時、J・C(日本商工会議所)の人たちから、みんなにレイが送られました。十日間の二回公演の疲

れもどこやら、はしやき廻るみんなの嬉しそうな顔、みどりの木々と、美しい芝生に囲まれたマッキンレー・ハイスクールを満ちたりた気持でさよならしました。大道具の人、小道具の人、楽士さん、それぞれお仕事をもちながら、よくやって下さったと感謝の念で一ぱいになりました。

それから、ハワイアン・ビレッジというホテルの中にハネムーンの人のために、二部屋ぐらい設備のいい小屋が椰子の木蔭に建っているのは、何ともいえぬロマンティックでした。私たちがハネムーンはここにしようなどといってましたけれど……。

もう一度せひ!

秩父 美保子

五月一日にメーデーの花まつりがあって、ハワイ大学に招待されましたが、日本では味わえない大学の空気を吸うことができました。とても、すてきな学校で少々羨ましく思いました。

ここで、学生たちのフラ合戦を観せていただきました。その合間にちよつとした運動会があつて、日本の腕相撲のようなや、綱ひきなど楽しい催しでした。競技はハワイ島とマウイ島との対抗で、賞品は全部バナナやパイナップルなど果物ばかりで、いかにもハワイらしい面白い行事だと思ひました。

やっぱり、ハワイは私が思つていたようにすてきな島でした。一生のうちに、もう一度は行きたいところです。

美しいハワイの色

浜 木綿子

ハワイで、もっとも感激したことは、色彩の美しいことです。こんなに美しいのでしたら、カラー写真の撮り方を勉強して行けばよかつたのと思ひました。

次に果物がとてもおいしかったことです。ただ残念なことに、お食事が口に合わないもので、私はいつも上級生の皆さんと一しよに、日本のお茶漬けをなつかし

第三回 ハワイ公演日程表

四月十日	午前九時、特急つばめで大阪発東京。
十一日	午後七時半、羽田空港発のパン・アメリカン機で一行二十六名日本を離れる。
十二日	午後五時四十五分ホノルル空港に到着。日本青年商工会議所幹部はじめ熱心なファンに迎えられ、フラの歓迎に一行は大喜び。直ちに、新装成れる小林ホテルに入る。
十三日	午後九時より十時半まで各新聞、ラジオ、テレビ記者とのインタビューを行う。
十四日	午前八時半、八号棧橋にて手荷物検査。
十五日	午前十一時より自動車で市中行進、キング知事及びブレイズデ市長を夫々庁舎に公式訪問。
十六日	午後七時半、ロイヤル・ハワイアン・ホテルでの桜まつり女王戴冠式舞踏会に出席。席上で宝塚一行の紹介が行われた。
十七日	青年商工会議所会員の夫人グループ主催歓迎午宴会に出席。
十八日	午後三時より四時までK・G・M・B日本語テレビで全員挨拶。
十九日	午後四時より日本総領事館主催の歓迎レセプションに出席。
二十日	午後七時半より花火大会(ホノルル球場)に出席。
二十一日	午前九時より、自動車十二台に分乗して、アフ島廻りを行う。途中ワイパフ、カヒオア、ハレイワ(午餐)、カフク、及びカネオヘの五ヶ所で地方人会より接待を受け、各地の名物を御馳走になり夕刻五時過ぎホテルに帰着。
二十二日	午後六時半よりカイマナ・ホテルに於ける日本入商工会議所主催の歓迎レセプションに出席。

んでいました。はじめて町へ買物に出て、塩ザケを見て来たとき、ほんとうにおいしく御飯がいただけました。

何だか食えることばかり書いて、よっぽど食いしんば「だなー」と思われるかも知れませんが、それほどお食事には苦労しましたから、お笑いにならないで下さいネ。

今こうして思い出を綴る時にも、ワイキキの海岸のナイトクラブから、街の中から、ピオン・ザ・リーフの曲が、そして私の一番好きだった曲——ノーフウフウ(おこらないで下さい)の曲が流れてくるような錯覚をおこすほど、ハワイの音楽も印象強いものでした。

ハワイの雨

藤里 美保

フォート・シャフター兵営で公演したとき、兵営(キャンプ)というからどんな所かと思つていましたが、舞台の中が少々狭いので、照明が暗いだけで、マッキンレー講堂より奥行もあり、楽屋のきれいなのは驚きました。

公演が終つてからルアウというカナカ土人料理を食べました——といっても、それは砂の中に豚を丸ごと埋め、石でむし焼にしたのを食べるのですから、ちよつと口に合わず、その上、食事の前にそれを見たので、よう食べなかつたのです。

毎日、日が照っているのに、雨が降つたりやんだり、本当に面白いところでした。

フラ・フラ

若山 かず美

フラ・ダンスのお稽古——ホテルの屋上で、ストラックスにブラウス、そしてハダシという扮装で、お尻を右に左に、前後へとゆらゆらゆらり、それを新聞社の人がパチリパチリ。

ほかのダンスとちがつて馴れていないので頭の回転がスローモーションになつて、覚えるのに時間がかか

十五日	午前十時半より曹洞寺別院ホールを借りて全員稽古。更に午後六時より十時までマッキンレー高校講堂で舞台稽古。
十六日	前日に同じ。
十七日	正午、ハワイアンビレッジ・ホテルで開かれた、ワイキキ及び西部ホノルルのロータリー・クラブの招待午宴会に出席。終了後ワイキキ浜でハワイ気分を満喫。
十八日	午後六時より十時までマッキンレー高校講堂で舞台稽古。
十九日	本日よりマッキンレー高校講堂に於て午後六時と八時半の二回公演。
二十日	廿三日まで「娘道成寺」二場及び「宝塚花踊り」十六場を上演。
二十一日	アメリカより帰国の途中、ホノルルに滞在中の長谷川一夫氏、フィナーレのステージに上り宝塚一行を激励。
二十二日	正午、ダイヤモンドヘッド、日系婦人会主催の午宴会に出席。
二十三日	午前九時半ワイキキ・プール前で、コダツク・ハワイ主催のフラ・ダンスを見物。
二十四日	午後、宿舎小林ホテルにてヘンリー・バスコンサレス夫人の指導でフラ・ダンスの稽古を始める(二十七日まで)。
二十五日	午前十時ハワイアン・パイナップルの鐘詰工場見学。
二十六日	正午ハワイ大学のパン・パシフィック祭に参加。
二十七日	千秋楽。ホノルルに於ける一般公演を無事終了。



さよならノ(クリーブランド号船上で)

夢の島

内重 のぼる

ハワイというところは、天候が一分ごとに変るようです。カンカン照りかと思えば雨が降つたりして。でも道路がきれいなのと、色の配合がとても美しいことに私たちは目をみはりました。

そしてどこへ行くのにも、すてきな自動車。買物に出かけたり、浜で泳いだり、ほんとうに夢の島の生活でした。そうですから、食物はあまり口に合わないのに、すごくモナになつて——(肥えて)——しました。

廿九日	午後四時、日本総領事館の天皇誕生日記念パーティに出席。
三十日	午後八時、フォート・シャフター兵営で特別公演。「娘道成寺」「宝塚花踊り」上演。
三十一日	ハワイアン・エア・ライン機でマウイ島に飛ぶ。
一日	夜、八時よりボールドイン・ハイの講堂で一回公演「鏡獅子」「花と人形」
二日	午前九時より自動車を連ねてハレヤカラ山に登山。昨夜に続き、最後の公演を行い、これを以て公演全部を無事終了し一同成功を祝しあう。
三日	朝から荷造り搬出。
四日	午後六時、カンツリクラブに於ける日本入青年商工会議所主催の送別会に出席。
五日	午後七時、A・P・L太平洋航路P・クリーブランド号に乗船。船内にて最後のカクテルパーティ。
六日	別れを惜しみつつ十時出港、故国へ向う。船中。
七日	午前八時横浜入港。一同元気に上陸し、同夜は東京に一泊。
八日	一行二十五名、特急「はと」に乗車、午後八時一ヶ月振りに大阪帰着。解散。
九日	(衣裳保山村よねはホノルルで乗船前、急性盲腸炎を発病のため残留、手術をうけ後日単独にて帰国)

許製
不復